

第1回検討会

藁科地域の2030の学校を考える会

令和4年2月22日

午後7時～9時

藁科中学校体育館

【検討会の立ち上げ&意見交換】

2月22日19時から藁科中学校にて「藁科地域の2030の学校を考える会 第1回検討会」を開催しました。底冷えする寒さの中、教育委員会職員のほか、藁科中、中藁科小、清沢小、水見色小、大川小中、中藁科こども園、清沢こども園のPTA役員の方々、それぞれの学校の校長先生をはじめとする学校関係者の方々等にお集まりいただきました。

今回の検討会は、参加者の顔合わせのほか、検討会の立ち上げの目的・趣旨や今後のスケジュール、教育委員会の考えるオクシズ地域の学校のあり方をご説明する、いわば「キックオフミーティング」として実施したものです。

なお、その後の意見交換では、下記のようなご意見がありました。

【PTA役員の方々からのご意見】

『各学校の歴史を大切にしたい思いも理解できるけれど、これからの地域のことを考えると、新しく魅力的な学校を作り、それを核として地域を盛り上げていきたい』

『自分たちの子の世代が将来藁科地域に戻ってきたいような環境を整えることが今の自分たちの責任だと思う』

『学校の先生方が熱心なのはとてもありがたいし、今の教育に不満があるわけではないけれど、やっぱり子どもたちにはある程度の集団の中で学校生活を送ってほしい』

『子どもに寂しい思いをさせないためにも学校統合は必要だと思う』

今後の検討会では、参加者の皆さんの思いを共有し合い、議論を深めていけたらと考えております。

検討会の様子については、随時発信していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

＜検討会の趣旨・目的＞

- 1 市内中山間地域における学校統合の進展
 - ① 少子化に伴い、市内の中山間地域を中心に、学校統合の動きが進んでいる
- 2 藁科地域における人口減少、少子高齢化
 - ① 存続が危ぶまれる集落の出現
 - ② 少子化により、子ども同士での協働・集団活動が難しくなっている
- 3 清沢地区自治会連合会からの要望書の提出
 - ① 清沢小と中藁科小の学校統合
 - ② 将来の藁科川流域の学校のあり方検討

➡ **今こそ将来の藁科の子どもたちや地域の姿を見据えた学校のあり方を検討するとき！**

＜今後のスケジュール案＞

- 第1回 2/22(火)19:00～
趣旨説明/自己紹介/意見交換
- 第2回 3/24(木)19:00～
ワークショップ①
- 第3回 4/20(水)19:00～
ワークショップ②
- 第4回 6/3(金)予定
土佐山学舎校長 竹崎優子氏講演等



第1回検討会の様子

静岡市教育委員会事務局 教育局
教育総務課 教育政策係
電話：054-354-2505

第2回検討会 藁科地域の2030の学校を考える会

令和4年3月24日
午後7時～9時
藁科中学校体育館

参加者の皆さん同士が、ご自身の想いや考えを自由に発言いただき、幅広く意見交換ができるよう、ワークショップを実施しました！

【テーマ】

藁科地域の未来に

こんな子どもたちがいたら、地域になったらいいな

2030年の藁科地域に「こんな子どもたちがいたらいいな」「こんな地域になったらいいな」という2つのテーマでワークショップを行いました。

当日は、参加者の皆さんがそれぞれの立場で意見交換し、会話の旅を楽しみました。

会話の中からは、「たくましさと優しさを合わせもつ子ども」「いつか藁科に帰ってくる子ども」「チャレンジ精神のある子ども」や「地域の自然や資源を活かした魅力や自慢づくり」など沢山の意見が挙がりました。

次回は、今回話し合った子どもや地域の姿を実現するための、藁科地域の学校のあり方について皆さんと話し合っていきます。 ※意見概要は裏面をご覧ください。



地域環境

- 【四季を感じる豊かな自然があり、のんびりできる】
- 【交通の利便性もあり、市街地に近い】
- 【歴史・文化の地域資源や、誇れる伝統もある】

参加者からの地域の強み



人・コミュニティ

- 【うちとけやすさ】
- 【協力的 団結力がある】
- 【地域への愛着があり温かみがある人が多い】

◎お問い合わせ先

静岡市教育委員会事務局教育局 教育総務課

☎ 054-354-2505



グループからの意見を整理しました！

テーマ：こんな子どもになったらいいな

【やさしさとたくましさのココロを持つ子】

- やさしさ たくましさ
- 大きい集団でも大丈夫なたくましい子

【自己肯定感や思いやりのある子】

- 自己肯定感 自分も他人も大切にできる子
- 経験・失敗・想像 チャレンジ豊かな子

【失敗にもくじけないチャレンジ精神のある子】

- 躰科も自分も大好き 積極的にチャレンジする思いやりのある子

【躰科が好き、誇りを持ち、羽ばたく子】

- わらしなを誇りにはばたいてほしい(戻ってきたいいな)
- 自分、人、地域が大好きをベースにした自信のある子

テーマ こんな地域になったらいいな

【街には無い 自慢や魅力のある地域】

- 人に自慢できる躰科地区
- 街にはない魅力を持っている
- るぶ6P特集できるような魅力を発信できる地域

【人の温かみを感じられるふるさと】

- 帰ってきたくなる地域
- 人とのつながりが感じられる

【自然一体型地域で人が集まる地域】

- 自然一体型のモール(公園・アスレチック、キャンプ場、おいしいもの→人があつまり発展)

- 躰科が大好き
- 躰科を忘れず 帰郷する

- いつかは戻りたくなる故郷

- 体験を通じて想像性豊かに
- 笑顔で明るく元気
- 粘り強くチャレンジ精神のある

- たくましさやさしさ
- 自分を大切にする
- 相手を思いやる
- 自分に自信のある
- 笑顔で明るく元気
- 粘り強くチャレンジ精神のある

- 他に無い「魅力・自慢」がある
- 豊かな自然を活かす
- 多彩な体験可能な場所歴史文化が守られている

- 子育てしやすい
- 日常生活の便利さ
- 交通の利便性や立地条件活かす

各個人の意見です



今後の予定

第1回 2月22日終了
趣旨説明
意見交換等

第2回 3月24日終了
「こんな子どもたち、こんな地域」にいたらいいな

第3回 4月20日
こんな学校が
できたらいいな

第3回 6月3日予定
講演会等

第3回検討会 藁科地域の2030の学校を考える会

令和4年4月20日
午後7時～9時
藁科中学校体育館

参加者の皆さんが、ご自身の想いや考えを自由に発言し、幅広く意見交換ができるよう2回目のワークショップを実施しました！

【テーマ】藁科地域の未来はこうであつたらいいな
「①こんな学校ができたら」、「②学校と地域とのつながり」、
「③藁科地域と地域外とのつながり」

前回のワークショップで皆さんが考えた将来の「子ども像」に近づくために、上記の3つのテーマで2回目のワークショップを行いました。

当日は、足元の悪い状況でしたが多くの参加者が参加し、熱心に意見を出し合いました。

特に実現したい意見として、「Wスクール(午前授業、午後習い事)」「オンラインで他校とつながる」「地域の人が先生、子どもが先生」や「地域のために活動する部活の創設」「人を集める温泉施設、商品開発」などが挙がりました。

また、最後に教育委員会事務局より、これまで実施してきた3回の検討会についての振り返りと、今後の進め方に関する説明があり、散会となりました。

次回6月3日は、高知県高知市立 義務教育学校土佐山学舎初代校長の竹崎優子氏を講師にお招きした講演会を開催します。

※意見概要は裏面をご覧ください



テーマ：こんな学校になったらいいな

★Wスクール

・午前は通常の授業と午後は専門講師等による習い事ができる。午後は地域の人も参加ができるしくみ



■語学力を高める授業

・英語の強化
・英語しか喋ってはいけない日を設ける
・ALTの増員

■地域部活

・地域の困りごとの解決などの地域活動に大人と児童が参加する活動促進

■複合施設による『地域拠点』

・老人ホームとか子ども園とかが一緒に存在

★グラウンド等の利用

○学校でキャンプ

テーマ 学校と地域とのつながり

★子どもが主体の地域づくり

・子どもが地域活性化プランを提言する
★子どもが地域をPR(レモン、和紙)
★子どもが地域の老人にパソコンやスマホの使い方を教える
★地域部活動



★子どもたちが地域づくりに参画

★防災訓練に参加
★地域のお店のお手伝い

★地域の人たちが先生

★地域の昔の遊び、技術
★見守り

★人材リスト

・特技にある人を探す

★地域の特色ある体験

・職業体験、蕎麦打ち
・田植えから収穫まで一連の農業体験

情報・交通インフラの整備（電動自転車、スクールバス保有 ★オンラインで他校とつながる、子どもが情報発信）

子ども像

- 【やさしさとたくましさのココロを持つ子】
- 【自己肯定感や思いやりのある子】
- 【失敗にもくじけないチャレンジ精神のある子】

家庭・地域像

- 【街には無い自慢や魅力のある地域】
- 【人の温かみが感じられるふるさと】
- 【自然一体型地域で人が集まる地域】



■人材育成

★地域の良さを活かし、専門知識を得られる勉強会など
★農林業の専門学校

■地域の魅力を創る

★グランピング
★温泉のある観光地
★特産品をSAで販売

■地域に仕事とお金を回す

★働く場
★特産品の開発

■関係人口の機会づくり

★ふるさとの祭りに来る人を地域活動引きこむ
・サッカーなどスポーツや福島の子どもたちと交流
・ホームステイ

■多様な交流

★学校を中心に他校、大学、企業などとの連携・協働
・海外と連携した活動



テーマ 地域外とのつながり



第1回 2月22日終了

趣旨説明
意見交換等

第2回 3月24日終了

「こんな子どもたち、こんな地域」にいたらいいな

第3回 4月20日終了

こんな学校が
できたらいいな

第4回 6月3日予定

土佐山学舎
初代校長による講演会

今後の予定